

函南町軽井沢メガソーラー関連のマスコミ報道 2021

2021/2/20

函南町 メガソーラー防災面で懸念（静岡新聞 2021 年 1 月 20 日版） 周辺首長に協力依頼	2
函南町に建設計画 メガソーラー（NHK 2021 年 1 月 20 日放送） 反対住民“環境影響評価の方法不十分”	3
アセスへ意見書 住民に説明内容（朝日新聞 2021 年 1 月 20 日版） メガソーラーで函南町長	4
環境保全を重視（伊豆日日新聞 2021 年 1 月 21 日版） メガソーラー計画で仁科町長 反対住民に姿勢示す	4
函南メガソーラー計画 地元商工会が「反対」（テレビ静岡 2021 年 2 月 1 日放送） 町の意見への反映求める 静岡・函南町	5
メガソーラー「景観激変、事業中止を」（伊豆日日新聞 2021 年 2 月 2 日版） 函南町商工会八木戸会長ら町長に意見書、要望	6
メガソーラー中止求め（静岡新聞 2021 年 2 月 2 日版） 函南町商工会、町長に意見書	7
メガソーラー「直下に活断層」（朝日新聞 2021 年 2 月 2 日版） 会結成の住民が勉強会	8
事業地直下に活断層（静岡新聞 2021 年 2 月 3 日版） 専門家 土砂災害の危険性指摘	9
函南メガソーラー「知事との面会望む」（伊豆日日新聞 2021 年 2 月 11 日版） 反対住民、県担当者と会談	10
災害への危機感強く（静岡新聞 2021 年 2 月 17 日版） 函南町メガソーラーへ住民意見	11
メガソーラー「住民の思い、重視を」（伊豆日日新聞 2021 年 2 月 17 日版） 函南議会 一心会、古村氏、町に要望	12

周辺首長に協力依頼

函南町長
メガソーラー防災面で懸念
周辺首長に協力依頼

函南町の仁科喜世志町長は19日、同町軽井沢の大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画について「治山

治水の問題をクリアできるとは思えない」とし、周辺市町の首長を訪ねて防災面での懸念を示すコメントを寄せ

てもらおうよう依頼する考えを示した。環境影響評価（アセスメント）

の方法書に対する町長の意見書に反映させる方針。

同日、計画に反対す

る住民団体との面談で明らかにした。メガソーラーの建設に伴う森林の保水力低下、事業用地が活断層の真上に位置する問題点を踏まえ、豪雨や台風などの影響が他市町にも及びかねない事態を想定。周辺の市町長からコメントが得られれば環境アセス方法書の縦覧期間後に作成する意見書に盛り込み、防災面で危機意識を地域全体で発信する。

面談では沼津市民も出席し、駿河湾も含めた広範囲に影響が拡大する可能性を指摘した。仁科町長は「意見書では流域の人々の考えも触れさせてもらう」と述べた。

地域密着の姿勢は忘
くはない。組合員
中には、合併によつて
が行き届かなくなると
不安もあるだろう。地

国保賦課限度額
21.1.20

函南町に建設計画 メガソーラー（NHK 2021 年 1 月 20 日放送）

反対住民“環境影響評価の方法不十分”



函南町に建設が計画されている大規模太陽光発電所をめぐり、土砂災害のおそれなどから反対する住民らが、事業者がこれまでに示している環境影響評価の方法は不十分だなどとして、改善を促すよう町に求めました。

函南町の軽井沢地区に計画されているおよそ65ヘクタールのメガソーラーの建設をめぐっては、一部の住民が、土砂災害のリスクの高まりや自然環境への影響を懸念して反対している一方、東京の事業者は、これまでに建設計画を進める上で必要な環境影響評価の方法を町などに示しています。



これについて、住民らが19日に町役場を訪れ、水質や地質などの対象範囲には根拠がなく、不十分だなどとして、事業者に対し、改善を文書で促すよう町に求めました。

この中で住民の1人は、建設予定地は、おととしの台風で実際に土砂崩れが起きたとして、「今後も大雨になれば災害が発生するおそれがあり不安だ」と訴えました。

また土砂災害が起きれば、沼津市などを流れる狩野川があふれ、水害を招くおそれがあるという声も聞かれました。



要望に対し、函南町の仁科喜世志町長は、住民の懸念は理解できるとして対応を検討する考えを伝えていました。

アセスへ意見書 住民に説明内容（朝日新聞 2021 年 1 月 20 日版）

メガソーラーで函南町長

**アセスへ意見書
住民に内容説明**
メガソーラーで函南町長

函南町軽井沢地区で計画されているメガソーラー建設問題で、同町の仁科喜世志町長は19日、反対派住民らと面会した。席上、「治山治水問題をクリアできない」と述べ、事業阻止を目指す考えを示した。

現在、事業者は義務化されている環境アセスメントに向けた準備が進んでいる。仁科町長は、手続きの

中で示すことになる意見書の内容について説明。「（2019年の）台風19号では大きな水害が発生した。計画では39もの森林を伐採する。狩野川下流域の首長に直接会い。その思いも意見書に盛り込みたい」と述べた。

これに対し、「函南町軽井沢メガソーラーを考える会」の山口雅之代表は意見書の方向性は評価したが「アセスでは事業を止められない。阻止のためには町条例の適用が必要だ」と訴えた。

（岡田和彦）

環境保全を重視（伊豆日日新聞 2021 年 1 月 21 日版）

メガソーラー計画で仁科町長 反対住民に姿勢示す



仁科町長の話に耳を傾けるメガソーラー計画に反対する住民ら
Ⅱ 函南町役場

環境保全を重視

メガソーラー計画で仁科町長
反対住民に姿勢示す

函 南

函南町の軽井沢地区 建設計画を巡り、計画で進む大規模太陽光発電に反対する住民らがこのほど、町役場で仁科

内容に関する意見を、知事宛てに提出することになっている。

仁科町長は「方法書の内容を確認しているが不十分な部分が多い。函南町は大きな土砂災害や水害を受けてきた地域。この計画では治山、治水の問題をクリアできるとは思えない」と述べ、「台風19号では狩野川など広域に被害が及んだ。周辺市町の首長に環境アセスについての意見を直接伺い、協力もお願いしたいと考えている」と語った。

面会には函南町軽井沢メガソーラーを考える会をはじめ、沼津市からも市民が参加した。同会の山口雅之代表は「仁科町長が環境アセスに対して反対住民と同じ思いを共有してもらっていることを知りうれしい。今後住民の命を守ることを第一に、リーダーシップを発揮してほしい」と語った。

函南メガソーラー計画 地元商工会が「反対」（テレビ静岡 2021 年 2 月 1 日放送）

町の意見への反映求める 静岡・函南町



函南町で計画されているメガソーラーについて商工会が町長に要望です。

東京の事業者がメガソーラーおよそ 10 万枚の太陽光パネルを町内に設置する計画で、今日は商工会のメンバーが「災害などへの懸念から中止すべき」として意見の反映を仁科町長に要望しました。



メガソーラー「景観激変、事業中止を」（伊豆日日新聞 2021年2月2日放送）

函南町商工会八木戸会長ら町長に意見書、要望

うらやまし

ボが大の苦
分ウツボ

元島沿岸



●伊勢エビを押さえ込むタコ

メガソーラー

「景観激変、事業中止を」

函南町商工会
八木戸会長ら 町長に意見書、要望

函南町の軽井沢地区
に進む大規模太陽光発
電所（メガソーラー）
建設計画を巡り、函南
町商工会の八木戸一重
会長らが1日、町役場
を訪れ、同事業に対す
る同商工会の意見書と
町の対応についての要
望書を仁科喜世志町長

に提出した。
八木戸会長は「観光
事業者の存続の命運を
左右しかねない計画。
商工会の意見として、
事業計画は中止される
べきもの」と考える一
と述べ、「提出した意見
書の内容を十分に考慮
し、県知事宛ての町の
意見書に反映してほし
い」と求めた。仁科町
長は「町は一環して不
同意を貫いている。県
の意見書には、商工会
の意見書を最大限尊重
し、提出する」と述べ
た。

要望書では「軽井沢
地区に65・3畧の広大
な林地等を伐採し、ソ
ーラーパネルを設置す
ることは、治山・治水、
流域住民、事業者の安
心・安全の観点から重
大な懸念と危惧を有し
ている」「山肌に張り
付けて設置されるソー
ラーパネルが素晴らし
の自然・緑・景観環境



要望書を読み上げる八木戸会長（右）函南町役場

また、稲木監督の関 持ちを込めて述べた。

を激変させることにな
る」などと中止を求め
た。

同商工会は開発業者
のフルーキャピタルマ
ネジメント（東京都港
区）が県条例に基づき
実施している同事業所

に「関わる環境影響評価
方法書に対し、1月28
日の理事会で審議し、
すでに同事業所に意見
書を提出している。こ
の意見書を町への要望
書に添えた。

移住定住

「企業と情報共有」

三島市と3社で研究会発足

三島市と市内の3社
による「みしま移住定
住研究会」の発足式が
1日、市役所で開かれ
た。豊岡武土市長と各
社代表が出席し、今後
の取り組みや役割につ
いて確認した。
豊岡市長は「10年間



あいさつする豊岡市長（手前）と参画企業代表
＝三島市役所

函南町商工会、町長に意見書

函南町商工会は1日、同町軽井沢で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）の建設に対し、事業の中止を求

メガソーラー中止求め

函南町商工会、町長に意見書



仁科町長（左）に意見書を手渡す八木戸会長＝函南町役場

める意見書を仁科喜世志町長に提出した。仁科町長は環境影響評価（アセスメント）方法書に対する町の意見書に反映させる方針。同商工会は事業者が設置する3カ所の調整池が事業用地の1・5％にすぎない点を指摘し、「大量の雨水が調整池の容量を超えれば、一昨年の台風19号以上の危機が生じる」とした。景観面では周辺の8カ所からソーラーパネルの可視領域に入ることで「自然環境に人工物が入り交じり、景観価値を著しく損ねる」とし、観光業への悪影響を訴えた。八木戸一重会長から意見書を受け取った仁科町長は「商工業者の考えを代弁するため、意見を最大限尊重したい」と語り、提出する町の意見書に盛り込む考えを示した。八木戸会長は「事業の阻止に向け、町と一緒に取り組んでいきたい」と述べた。

会結成の住民が勉強会

メガソーラー 「直下に活断層」

会結成の住民が勉強会

函南町軽井沢地区で計画されているメガソーラー予定地近くの住民が「丹那の自然と生命を守る会」を結成し、1月30日に現地で30人が参加して勉強会を開いた。講師を務めた地質の専門家でコンサルタントの塩坂邦雄氏が計画地の直下に活断層があり危険だと指摘した。

塩坂さんによると、洪水防止のための調整池付近の地下を国土地理院が公表している活断層が走っている。このため「断層が動いて地震が起きれば（調整池の）堤体は崩壊し下流を土石流が襲う。こんな危険な計画は止めなければならな

い」と主張した。

守る会は計画地の近くにある丹那小学校・幼稚園に子どもを通わせる親たちが中心になって昨年末結成した。会長の会社員溝口靖基さん（54）は「まずはメガソーラー阻止のために全力を尽くす。阻止した後は活気と魅力にあふれたまちづくりを進める活動に発展させていきたい」と話した。

計画では開発業者のブルーカーピタルマネジメント（東京都港区）が丹那盆地（北側斜面の山林約65haに太陽光パネル約10万枚を設置、中部電力子会社のトーエネック（名古屋）が東京電力に売電する。環境アセスメントに向けた準備を進めており、守る会ではアセスに対する意見書で活断層の危険性を指摘することにした。

（岡田和彦）



事業用地の付近を訪れて地質を調べる塩坂邦雄氏（手前）
＝1月30日、函南町軽井沢

函南・メガソーラー計画

事業地直下に活断層

専門家 土砂災害の危険性指摘

函南町軽井沢の大規模太陽光発電所「メガソーラー」建設計画で、事業用地の真下に活断層が通っていることが分かった。地質調査で、断層図では、約65センチの断層が、事業用地の直下には三つの活断層が南北に走っている。同事業の環境影響評価書にも活断層の存在が記載され、その上に雨水をためる約2万4千坪の調整池などが建設される計画。開発事業者のブルーキャピタルマネジメント（東京）は「活断層は止めるのは難しい」と、審査の過程で「活断層の存在は確認していない」という。一



より調整池が満水の状態で活断層が動いた時の危険性を指摘。水が土砂を巻き込み、ものすごいエネルギーで土砂が襲う。下流の丹那小学校まで数分ではないか」とみている。県によると、環境アセスの調査項目には「土地の安定性」が含まれるもの、どこまで調べるかは事業者次第。現時点のアセス計画で活断層の位置に関する調査を行う予定はなく、ブルーキャピタルマネジメントは「調査を求める意見が出れば誠実に検討したい」という。

事業に「不同意」の山ノ内町長、白

函南太陽光発電事業 函南町東端の山林に広がる事業用地65センチ、約10万坪のソーラーパネルを設置する。2022年8月に着工し、23年12月に運転を開始する予定。ブルーキャピタルマネジメント（東京）が開発事業を行い、固定価格買い取り制度に基づき中部電力子会社のトリエネック（名古屋）が東京電力に全量売電する。

姿勢を示し「科書世志町長は、環境アセスの方法書に対する意見書を作成し県に提出する方針」（三島支局・金野真）

長野で住宅火災 相次ぎ4人死亡
2日朝にかけて、山ノ内町と松本市で住宅火災が2件発生し、県警によりますと、計4人の遺体が見つかった。住人の2組の高齢夫婦4人、80代の白鳥さんと70代の妻と連絡が取れていない。2日午前5時15分ごろには松本市開智、東條豊さん92歳で火災と連絡が取れていない。東條さんと妻87歳と連絡が取れていない。

鶴岡高容疑者22人と共謀したとみている。逮捕容疑は、松江市の大学生を鶴岡容疑者に紹介し昨年7月、この大学生に鶴岡容疑者の指図で給付金を不正申請させ、中小企業庁から100万円を大学生の口座に振り込ませた罪状が示されている。鶴岡容疑者が大学生から数十万円を受け取り、田中容疑者がうち数万円を「紹介料」として得た疑いがあるという。

(1)

第13473号 (昭和58年3月22日第3種郵便物認可)

伊



県の林地開発許可について話をする藤田局長(左)
＝函南町の軽井沢公民館

函南メガ
ソーラー

「知事との面会望む」

反対住民、県担当者与会談

函南町軽井沢で計画が進む大規模太陽光発電所(メガソーラー)による会談が10日、軽井

沢公民館で行われた。同事業は県の林地開発許可を受けている。

事業用地の直下には三つの活断層が南北に走っている。同事業の環境影響評価(アセスメント)方法書にも活断層の存在が記載され、その上に雨水をためる約2万4千トンの調整池などが建設される計画。反対住民らは調整池直下の活断層とスコリア層による土砂災害による災害リスクを指摘している。

会談には函南町軽井沢メガソーラーを考える会(山口雅之代表をはじめ、周辺市町の関係住民ら24人が参加。県からは担当者6人が出席し、事業計画の現状などを説明した。山口代表は「県と住民と協力してこの問題の解決に取り組んでいきたい。県のトップである知事と会う機会を設けてもらい、地元の声を直接伝えたい」と訴えた。

国土地理院活断層図では、約65診に広がる

に対しては行政指導を
続けていく」と説明し
た。



三島南高
センバ
祝

三島市大場の三島南高に、第93回選抜高校野球大会出場を祝う懸垂幕が登場した。応援の看板や旗も設置され、学校挙げてムードを盛り上げている。

函南町メガソーラーへ住民意見

災害への危機感強く

函南メガソーラーへ住民意見

一心会
町長に報告

仁科町長（左）に報告書を手渡す土
屋会派長＝函南町役場



函南町議会の会派「一心会」は同町軽井沢で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画に対し、環境影響評価（アセスメント）の方法書に対する

町民や企業など211件の意見をまとめ、16日に町役場で仁科喜世志町長に報告した。災害に危機感を抱く町民は多く、仁科町長が作成する町の意見書に反

映するよう求めた。

一心会には個人19

5件、団体16件の意見が寄せられ、水害・浸水を懸念する内容が最多の70件、地震・活断層による危険性の指摘は37件だった。自然破壊など環境への影響に加え、事業者の説明不足に憤る声も上がった。土屋学会派長は「町民の思いを重視し、リリースを発揮して解決に尽力してほしい」と仁科町長に訴えた。

同計画に対して「不同意」の姿勢を示している仁科町長は「メガソーラーができれば毎日が不安になる。オ

ル函南で取り組んでいきたい」と応じた。

難航する統合計画
今後の方向性議論
西伊豆町教委

西伊豆町教育委員会は15日夜、本年度の第4回文教施設等整備委員会を同町の安良里公民館で開いた。難航している認定こども園と小中一貫校の統合計画の現状を報告し、委員約15人と今後の方向性について議論した。

統合計画は町議会による2度の予算削除を受けて停滞している状況。委員会では長きにわたり意見を交わし、方向性を定めてきた



仁科町長(左)に要望書を手渡す
土屋会派長＝函南町役場

メガソーラー

「町民の思い、重視を」 函南 一心会、古村氏、町に要望

函南町の軽井沢地区で進む大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設計画を巡り、函南町議会の会派・一心会（土屋学芸派長）と無会派の古村高氏は16日、町役場に仁科喜世志町長を訪ね、意見・要望書を提出した。要

望書は「町長として町民の思いを重視し、町民の力を合わせ、この問題に取り組んでいけるようリーダーシップを発揮し、解決に向け尽力してほしい」となどと求めた。

同会派と古村氏は、開発業者のブルーキャピタルマネジメント（東京都港区）が県条例に基づき実施した同事業所に関する環境影響評価方法書に対し、町内の事業所や町民に意見書提出を求めた。その結果、230を超えている意見書が集まったという。意見書は事業者に送るとともに、内容を整理、集約し、町長宛ての要望書に添付した。

土屋会派長は「町民による重要な意見を理解していただき、町長が県に提出する報告書の中で、しっかりと反映してほしい」と述べた。

最新情報は下記のウェブサイトをご覧ください。

→ <https://dialand.jp>